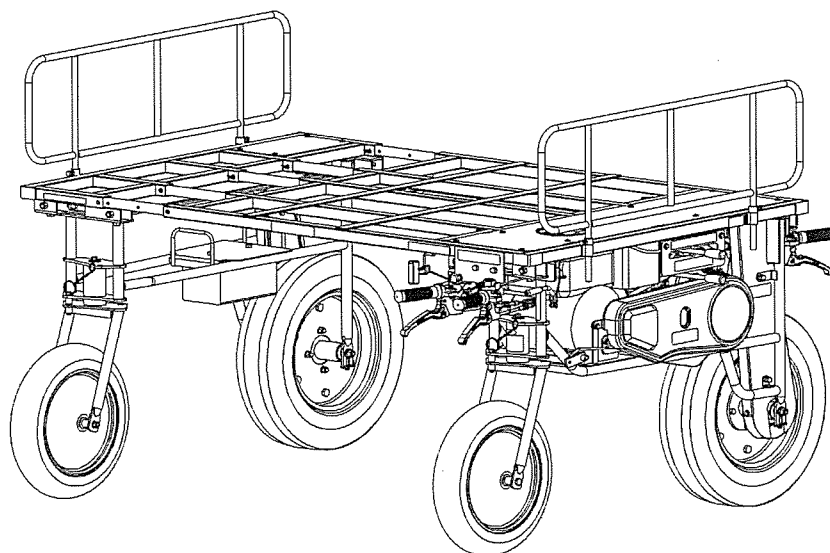


# 野菜運搬車

## 取扱説明書

### KYU-S-3A(1200)



KYU-S-3(1200)

当製品を正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

## 操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。



エンジン停止



チョークレバー



ガソリン燃料

## 専門用語の説明

燃料コック [開]

燃料コック [閉]

## 本製品の使用目的について

本製品は、農業機械ですので農作業以外では使用しないでください。  
使用目的以外の作業、また夜間作業や改造はしないでください。  
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。  
(詳細は保証書をご覧ください。)

## 仕様について


この取扱説明書では、仕様の異なる製品を下記のように表示していますので、お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします。  
なお、機種及び仕様の区分によっては付いていない装置の説明もあります。

- 最小トレッド(左右車輪間)1200mm仕様

# はじめに




このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。  
この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。  
ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が秀れた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。  
また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 安全 第 一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。  
なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

### ■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

-  **危険**：注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことになるものを表示します。
-  **警告**：注意事項を守らないと死亡または重傷を負う危険性があるものを表示します。
-  **注意**：注意事項を守らないとけがを負うおそれがあるものを示します。

# 目次

---

安全に作業するために	1
本製品の使用目的	3
警告ラベルとその取扱い	4
サービスと保証について	5
各部の名称と取扱い	6
上手な運転のしかた	12
1、運転前の準備	12
給油・脂表	12
2、エンジンの始動	14
3、停止のしかた	15
4、発進のしかた	15
こんな時どうする	16
1、エンジンオイルの交換	16
2、エアークリーナエレメントの清掃	16
3、フィルターポットの清掃	17
4、点火プラグの清掃・調節	17
5、ミッションオイルの交換	17
6、Vベルトの張りの調節	18
7、サイドクラッチの調節	18
8、駐車ブレーキの調節	18
9、走行チェンの張りの調節	18
10、車幅の調節	19
11、長期格納のしかた	19
仕様諸元	20

# 安全に作業するために

野菜運搬車の取扱いは正しく、ちょっとした油断がもとで、思わぬ事故を招くことがあります。安全で能率的な作業を行うために、次のことをお守りください。



**警告** こんなときは運転しない

1. 体の調子の悪いとき
2. 酒を飲んだとき
3. 妊娠しているとき
4. 16才未満の人

〈守らないと〉

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。



**警告** 作業に適した服装

1. はち巻・首巻・腰タオルは厳禁
2. だぶつきのない服装
3. ヘルメットなどの防護具の着用

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



**警告** 他人に機械を貸すときは取扱い方法を説明する。

取扱い方法を説明し、使用前に取扱い説明書を必ず読むように指導してください。

〈守らないと〉

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。



**警告** 機械の改造禁止

純正部品や指定アタッチメント以外の部品を取付けないでください。  
機械を改造しないでください。

〈守らないと〉

死亡事故や重大なな害、機械の破損を招く恐れがあります。



**注意** 点検・整備を行う

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。  
定期の点検・整備をかならず受けてください。

〈守らないと〉

事故・ケガ・機械の破損を招く恐れがあります。

# 安全に作業するために



**危険** 燃料キャップを閉め、こぼれた燃料はふき取る。  
燃料を補給した後は、燃料キャップを確実に閉め、こぼれた燃料をきれいにふき取ってください。

〈守らないと〉

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。



**警告** 排気ガスには十分に注意する。  
締め切った室内ではエンジンを始動しないでください。  
エンジンは風通しの良い屋外で始動してください。やむをえず屋内で始動する場合は十分に換気してください。

〈守らないと〉

排気ガス中毒を起こし、死亡事故にいたる恐れがあります。



**注意** マフラーの高温に注意  
運転中及びエンジン停止直後のマフラーは高温です  
触れないでください。

〈守らないと〉

ヤケドをする恐れがあります。



**警告** マフラー、エンジン周りのゴミは取り除く  
マフラー、エンジン周辺にゴミ、ワラクス、燃料が  
付着していないか毎日作業前に点検してください。

〈守らないと〉

火災事故を引き起こす恐れがあります。



**警告** 坂道、アユミ板の上では変速禁止  
適正な速度段を選択し、坂道やアユミ板の上では  
主クラッチを切ったり変速をしないでください。

〈守らないと〉

事故を引き起こす恐れがあります。

# 安全に作業するために



**警告** 点検整備をするときはエンジン停止  
点検整備や、車幅の調節を行うときは、エンジンの  
回転を停止し、タイヤに輪止めをしてください。

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたりして、重大な傷害事故を引き起こす恐れがあります。



**警告** 乗車運転禁止  
この運搬車は歩行形運搬車です。  
荷台の上に乗って運転したり、人を載せて運転しないで下さい。

〈守らないと〉

転落事故等による、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



**警告** 溝、あぜ越えは、アユミ板を使用する  
ほ場に入るとき、溝、あぜを渡るとき、軟弱な所を通る時は、  
幅、長さ、強度のあるアユミ板を使用してください。

〈守らないと〉

転倒やスリップによる事故を起こす恐れがあります。



**警告** 積み降ろしは、上りは前進、下りは後進で  
丈夫な、すべり止めをしたアユミ板を確実に固定し、上りは  
前進、下りは行進でロータリの爪等を引っ掛けないように  
注意し周囲に人がいないことを確かめ低速で行って下さい。

〈守らないと〉

転落などの事故を引き起こす恐れがあります。



**注意** 積荷にロープを掛ける。  
荷台に荷物を乗せたときは、十分な強度を持ったロープを  
用いて確実に固定して下さい。

〈守らないと〉

荷崩れを起こし、ケガをする恐れがあります。

## ☆本製品の使用目的

本製品は農業用の運搬車です。圃場内での収穫・運搬作業にご使用ください。  
使用目的以外の作業や改造は絶対にしないでください。


# 安全に作業するために

## 警告ラベルとその取扱い


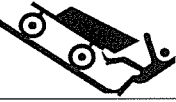
### [ラベルのメンテナンス]

- (1) 警告ラベルは、いつも綺麗にして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全に拭き取り乾いた面にして元の位置に貼ってください。

品番: 271100000851005

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取扱説明書をよく読んで、正しい取扱をし、安全な作業をすること。</li> <li>● エンジンを始動する時は、主クラッチレバーを「切」にすること。</li> <li>● 過積載はしないこと、畑以外では使用しないこと坂道で駐車しないこと。</li> <li>● 荷台には人を乗せないこと、荷台に乗って運転しないこと。</li> <li>● 点検、整備をする時は、必ずエンジンを停止すること。</li> </ul>
---	--

品番: 271100000855000

 <b>警告</b>	 <p>作業をする時は、荷崩れなどにより傷害事故をおこすおそれがあるので、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 傾斜地では、ロープなどで荷崩れ防止をすること。</li> <li>● 急傾斜では作業をしないこと。</li> <li>● 自動車への積み降ろしは、スピードをおとし、途中で主クラッチを切ったり、変速レバーを操作しないこと。</li> </ul>
---	---

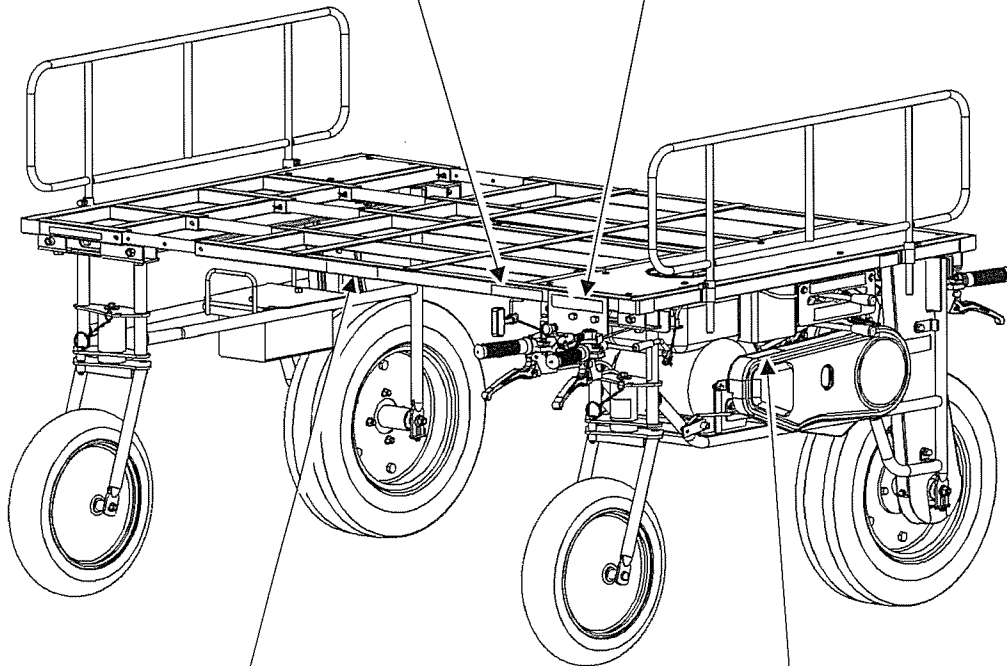





図: KYU-S-3  
KYU-S-3(1200)

 <b>警告</b>	<p style="text-align: center;"><b>積み降ろしするとき</b></p> <p>上りは駆動タイヤ側「前進」で 後部タイヤ（フリー）をピンにてロックする事。 下りは「後進」、ピンにてロックする事。</p>
---	--

品番: 271600000602000

 <b>注意</b>	 <p>巻きこまれるおそれがあるので、このカバーをはずしたままエンジンを始動しないこと。 点検、整備後は、必ずカバーを装着すること。</p>
---	--

品番: 236100000452002



# サービスと保証について

## ●保証書について

お客様が保証修理を受けられる場合に  
必要になるものです。

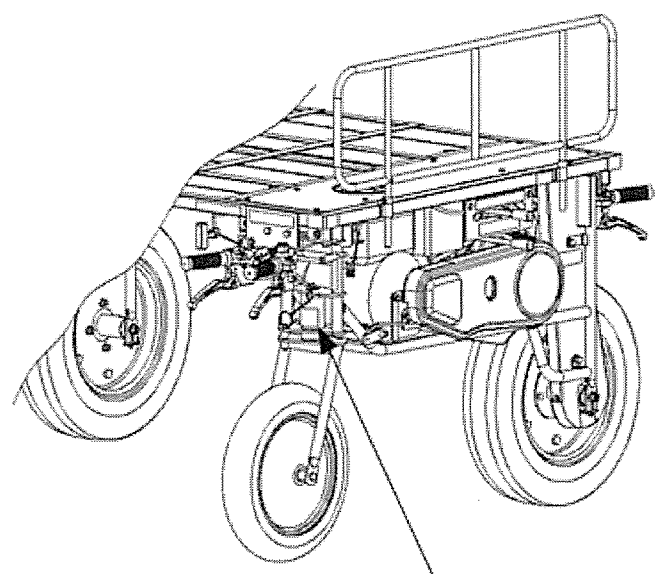
よくお読みになって大切に保管してく  
ださい。

## ●アフターサービスについて

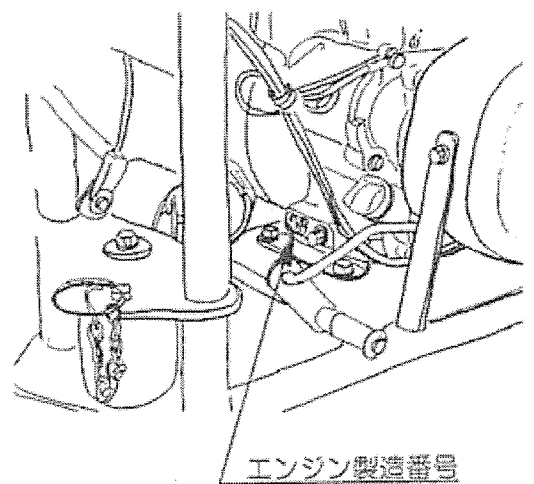
機械の調子が悪いときに、点検修理し  
てもなお不具合があるときは、お買い  
上げの販売店又は直接当社にご連絡く  
ださい。

その際に連絡していただきたい内容

- 野菜運搬車の型式名
- 野菜運搬車の製造番号
- 搭載エンジンの製造番号
- 仕事の内容
  - どのような作業をしていましたか。
  - どのくらい使用しましたか  
(アール、又は時間)



型式名、製造番号

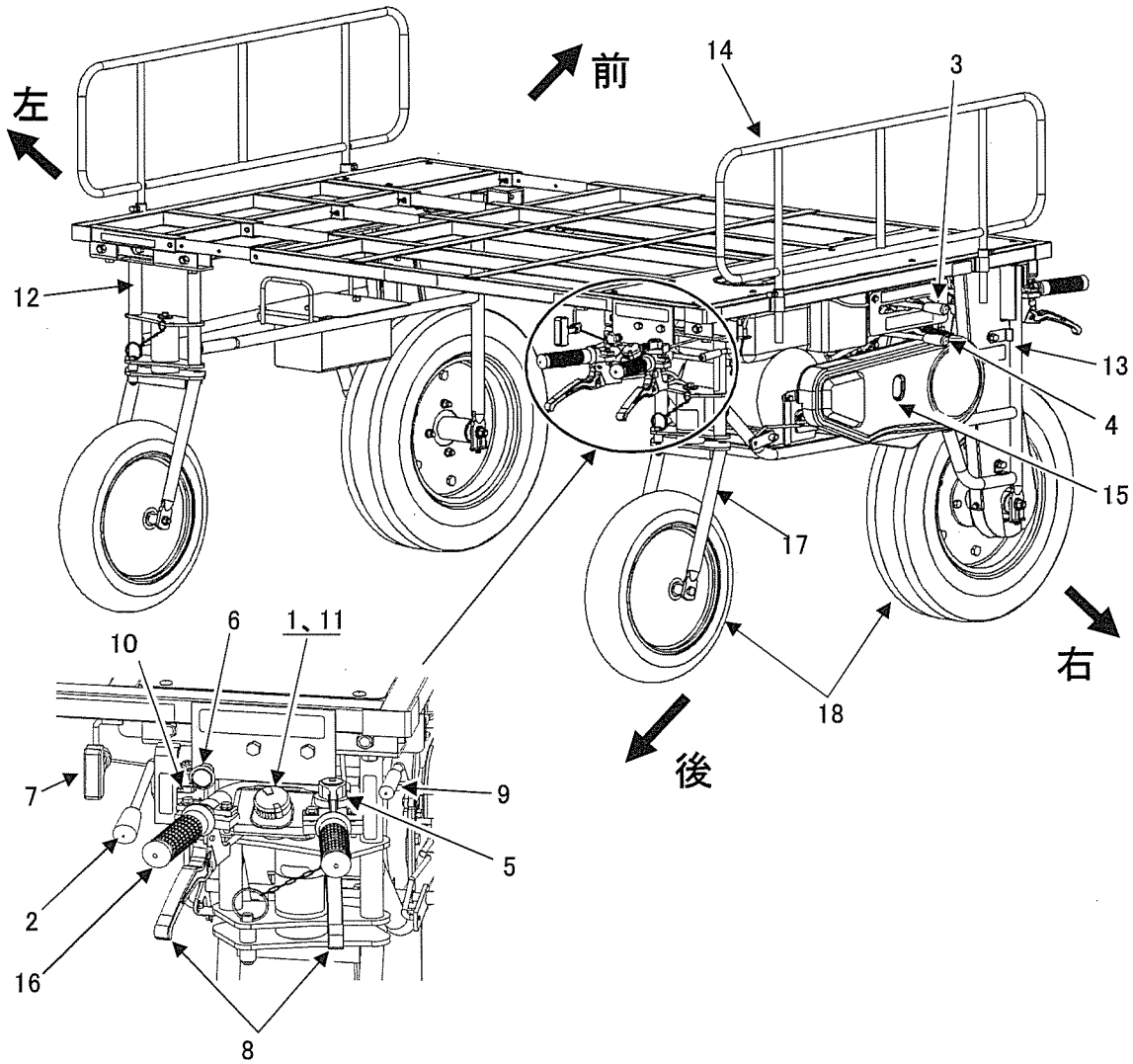


エンジン製造番号

# 各部の名称と取扱い

KYU-S-3A(1200)

- |                 |              |           |
|-----------------|--------------|-----------|
| 1、エンジン停止スイッチ    | 7、リコイルスタータ   | 13、フレーム右  |
| 2、主クラッチレバー(ウシロ) | 8、サイドクラッチレバー | 14、フェンス   |
| 3、主変速レバー        | 9、ブレーキレバー    | 15、ベルトカバー |
| 4、副変速レバー        | 10、始動安全装置    | 16、ハンドル   |
| 5、アクセルレバー       | 11、緊急停止スイッチ  | 17、キャスト   |
| 6、チョークレバー       | 12、フレーム左     | 18、タイヤ    |



# 各部の名称と取扱い

19、エンジン  
20、燃料コックレバー  
21、燃料ゲージ

22、主クラッチレバー(マエ)  
23、荷台  
24、チェンケース

25、補助ハンドル

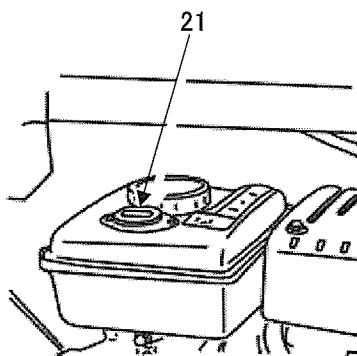
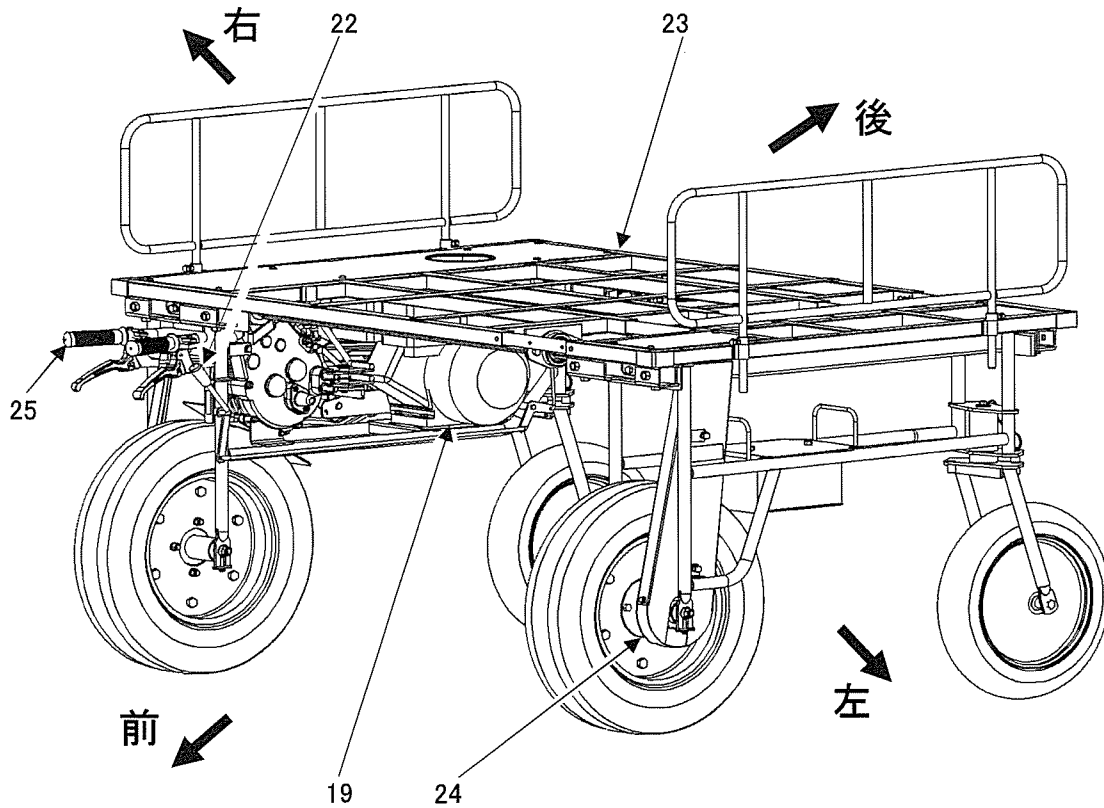


図:エンジン部1

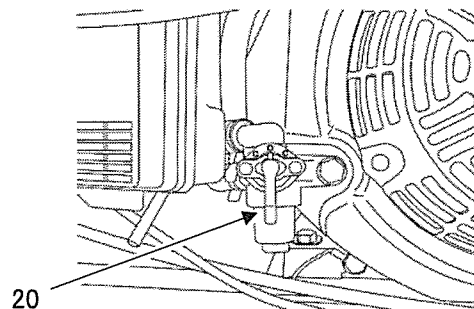


図:エンジン部2

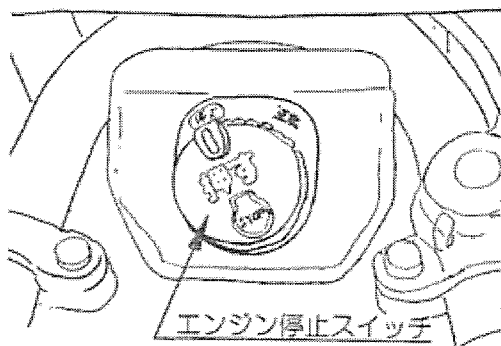
# 各部の名称と取扱い

## 1. エンジン停止スイッチ

●エンジンの停止と運転

停止…ボタンを押すと左に回ってロック

運転…ボタンを押込み右に回して運転の位置にする

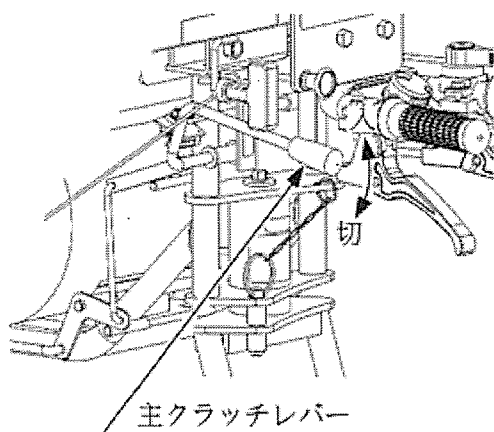


## 2. 主クラッチレバー

●エンジン動力の断続

「入」…レバーを持ち上げる様に操作

「切」…レバーを下げる様に操作



注意

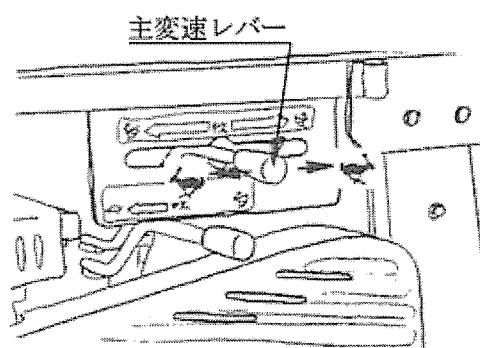
1. 主クラッチの断続はゆっくりと確実に（バックは特にゆっくりと）行ってください。
2. 主クラッチレバーは前側にも設置されています。

## 3. 主変速レバー

●機械の進行方向の選択をする。

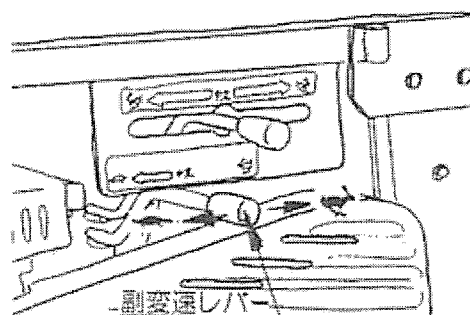
前進  後進  とも1段づつ、副変速と合せて2段づつの変速が出来ます。

\*変速操作は主クラッチを切ってから確実に行ってください。



## 4. 副変速レバー

●走行速度を高速  低速  に変速します。

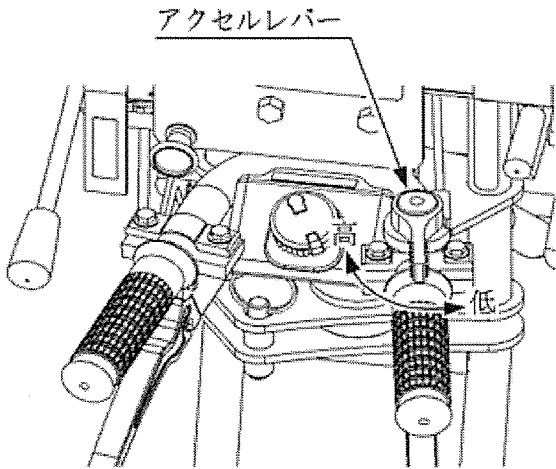


\*変速操作は主クラッチを切ってから確実に行ってください。

# 各部の名称と取扱い

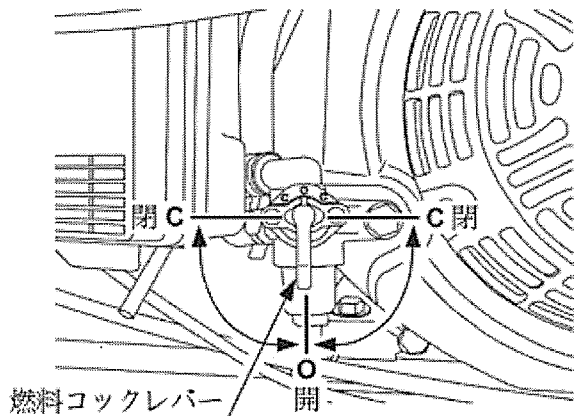
## 5、アクセルレバー

- エンジン回転の調節をします。  
「高」の位置にすると回転が速くなります。  
「低」の位置にすると回転が遅くなります。



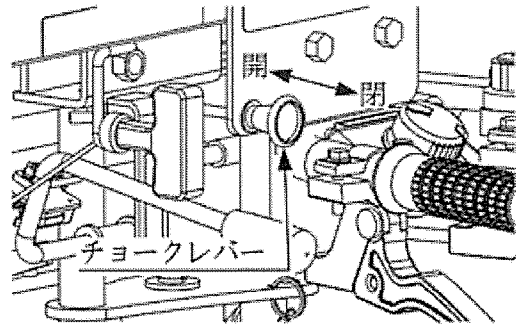
## 6、燃料コックレバー

- 燃料タンクからの燃料の「供給」「停止」を行います。  
「C」(閉) …燃料供給の停止  
「O」(開) …燃料の供給



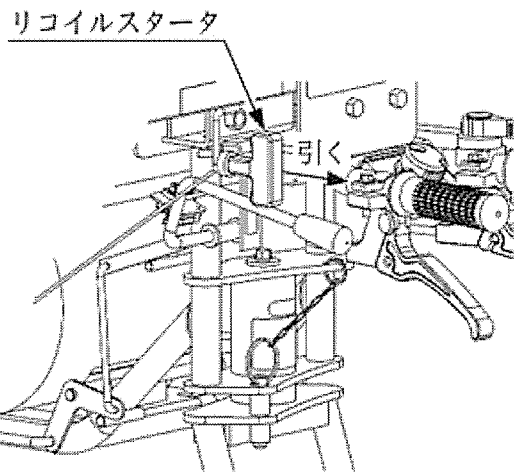
## 7、チョークレバー

- エンジン始動時に使用します。  
チョーク閉…チョークレバーを引く。  
チョーク開…チョークレバーを押す。



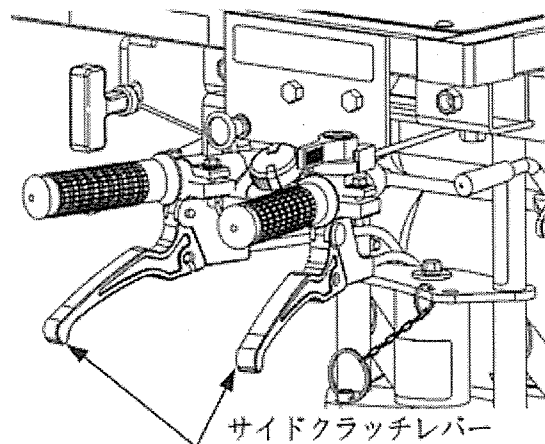
## 8、リコイルスタータ

- エンジンの始動をします。  
リコイルを引っ張ると始動します。



## 9、サイドクラッチレバー

- 左右の車軸への動力の断続をします。  
左右への進路を転換する時に使用します。  
握ったレバー側に機体が旋回します。  
傾斜地での作業及び積込み・積降ろしの際には、転倒や荷崩れのおそれがある為、サイドクラッチ操作は行なわないでください。



# 各部の名称と取扱い

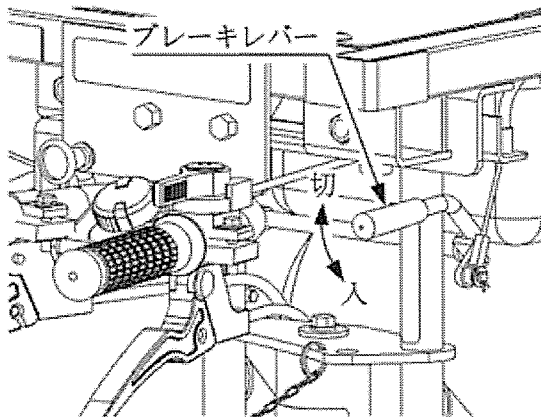
## 10、ブレーキレバー

●駐車ブレーキの入り切りをします。

ブレーキレバーと主クラッチレバーは運動しており主クラッチレバーを「入り」にすると駐車ブレーキは自動的に解除されます。

注意

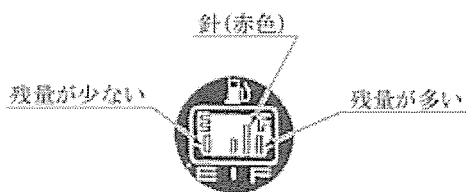
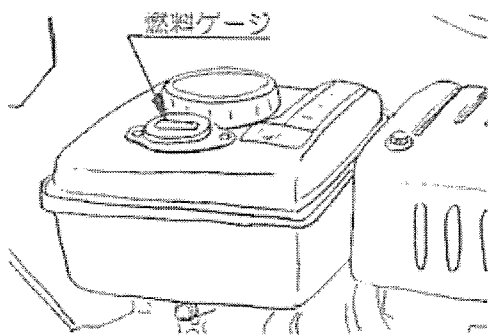
このブレーキを駐車時以外の目的で使用しないでください。



## 11、燃料ゲージ

●燃料タンク内の燃料の目安の残量を確認します。

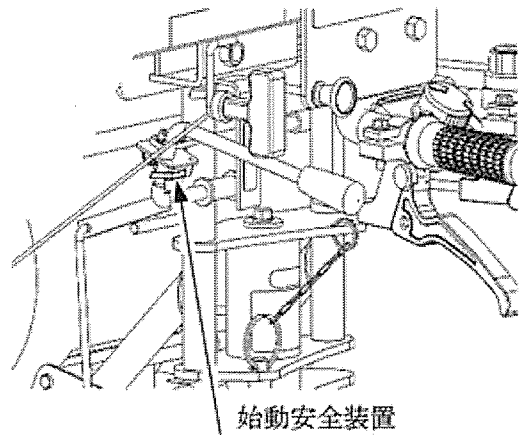
- (1) 「E」側に針があると燃料が減っています。
- (2) 「F」側に針があると燃料があります。



## 12、始動安全装置

●始動時の急発進防止の為

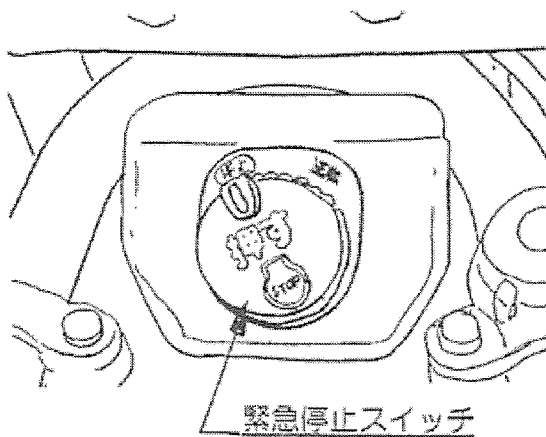
エンジン始動時における、急発進事故を防ぐ為、クラッチレバーが「入」の時には、エンジンが始動しない様になっている。



# 各部の名称と取扱い

## 13、緊急停止スイッチ

●緊急時にエンジンを停止させる非常停止用スイッチです。ハンドル中央部に設けられた赤いボタンのスイッチが緊急停止スイッチです。緊急の場合にすばやくたたくように押してください。スイッチが「停止」の位置になりエンジンの回転が停止します。



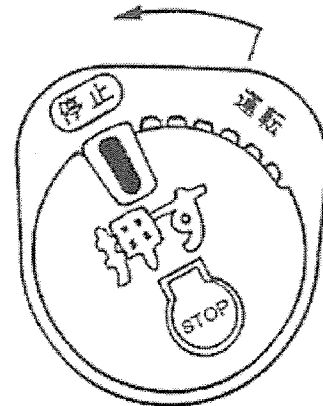
★このスイッチはエンジン停止スイッチも兼ねています。通常のエンジンの「運転」「停止」にも使用します。

## ・操作

### 1、停止

ボタンを押すと、ボタンが左に回って(反時計回り)「停止」の位置になり、エンジンの回転が止まります。

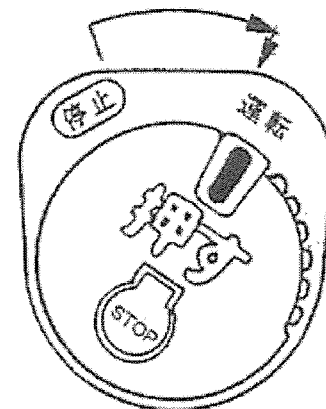
停止



### 2、運転

ボタンを押し込みロックを外し、そのまま止まる所まで右に回し(時計回り)、引き上げるようにして手を放すと「運転」の位置でロックされます。

運転



# 上手な運転のしかた

## 1、運転前の準備

### (1) ボルトナットの点検

エンジン・ホイールハブ・ハンドルなどの各部のボルト・ナットの締付を点検します。

### (2) 給油・注油

各給油個所には工場から出荷の際オイルを入れてありません。給油・脂表に従って必ず給油してください。

●給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。

●燃料がこぼれた時はきれいに拭き取ってください。

●機体を安定させて給油してください。

●燃料が規定量以上給油されていないか確認してください。

●廃油は空地などに捨てないで適正な処理をしてください。

《給油・脂表》

注油個所	油種	所要量	交換時間
		KYU-S-3A(1200)	
ミッションケース	ギヤオイル SAE90#	1.5ℓ	毎日点検 1回目は20時間運転で 2回目からは50時間運転毎
クランクケース	エンジンオイル 春-秋 30# 冬-20#	0.6ℓ	毎日点検 1回目は25時間運転で 2回目からは50時間運転毎
走行ケースのチェン	グリース	適量	適時
レバー類	エンジンオイル 又はギヤオイル	適量	毎日注油
テンションアーム	エンジンオイル 又はギヤオイル	適量	毎日注油
ワイヤー類	エンジンオイル 又はギヤオイル	適量	毎日注油

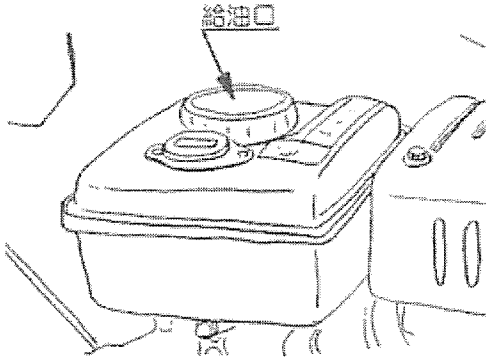


# 上手な運転のしかた

①燃料タンクに燃料を入れて下さい。

自動車用無鉛ガソリン

規定量：KYU-S-3A(1200) …2.5 ℓ

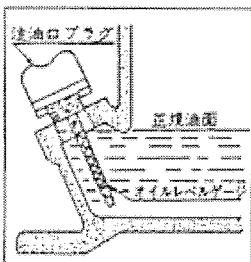
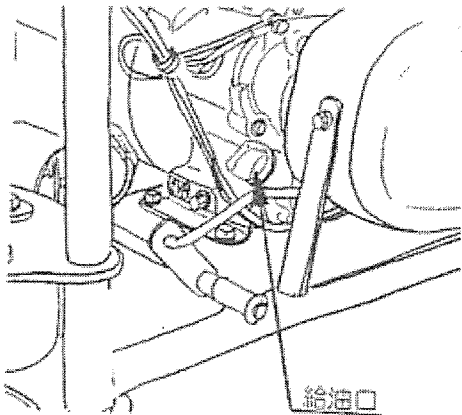


②エンジンオイルを入れてください。

春—秋……30#又は10W—30

冬— ……20#又は10W—30

規定量：— KYU-S-3A(1200) …0.5 ℓ

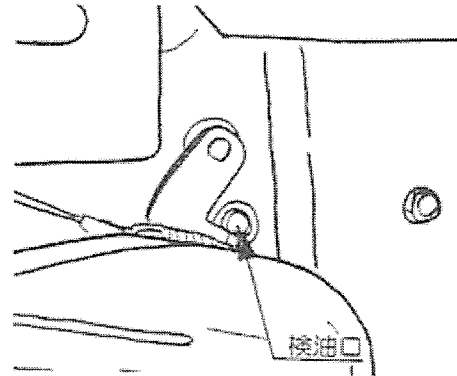
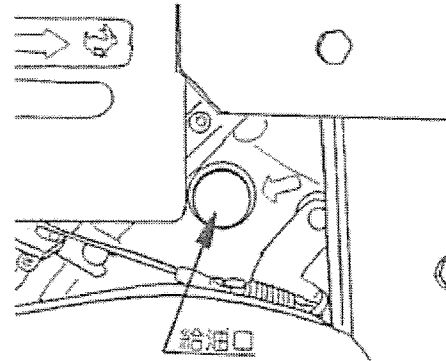


- ・エンジンを水平にして正規油面まで補給。
- ・油量は注油口プラグをねじ込まないでチェックする。

③ミッションケースにオイルを規定量入れてください。検油口よりオイルが流れ出れば規定量です。

ギヤオイル90#

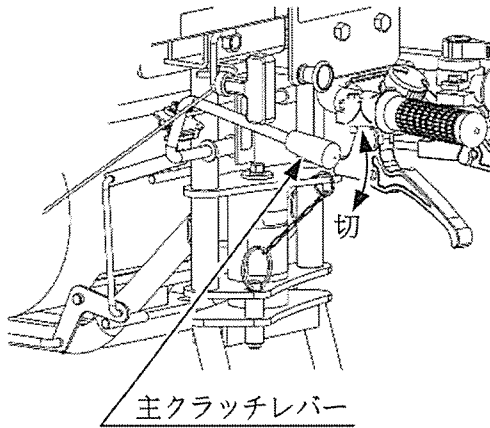
規定量……1.5ℓ



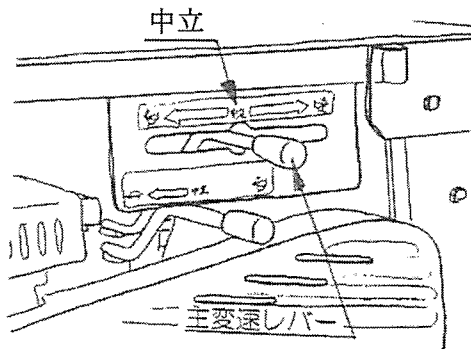
# 上手な運転のしかた

## 2、エンジンの始動

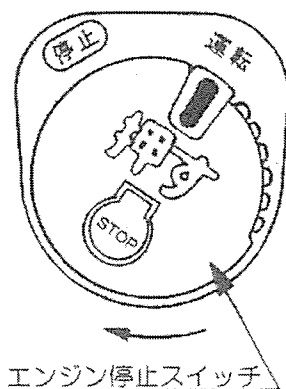
(1) 主クラッチレバーが「切」になっているか確認してください。



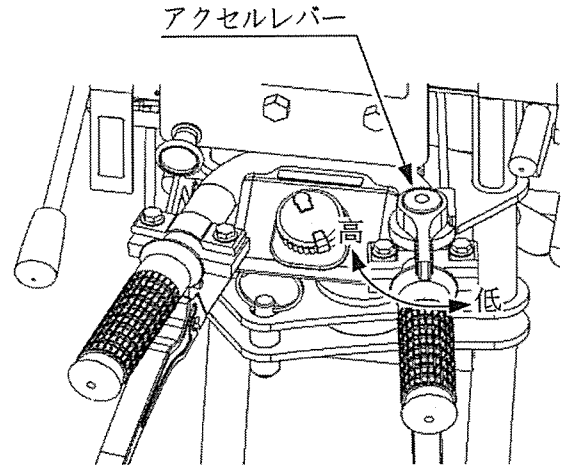
(2) 主変速レバーを「中立」にしてください。



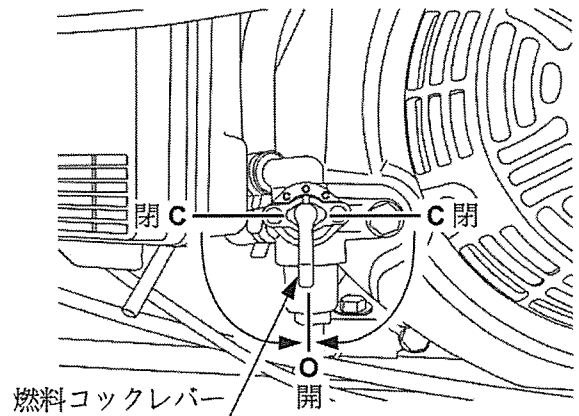
(3) エンジン停止スイッチを運転の位置にしてください。



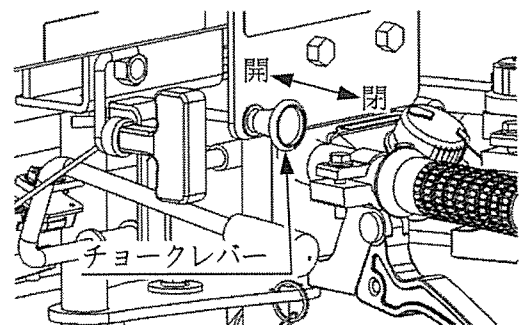
(4) アクセルレバーを「高」の位置にしてください。



(5) 燃料コックを「O」の位置にしてください。



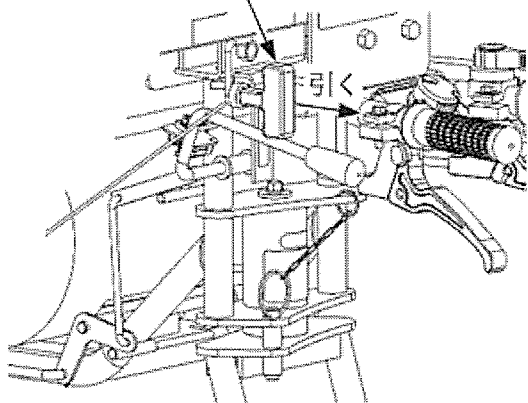
(6) チョークレバーを引いてください。



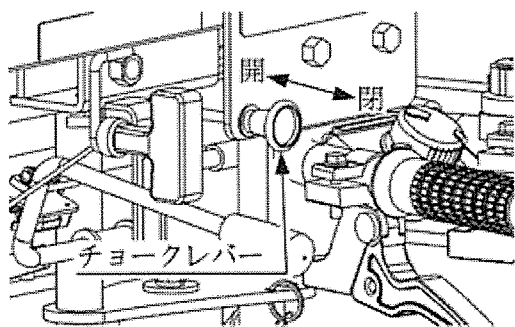
# 上手な運転のしかた

- (7) リコイルスタータを勢いよく引いてください。スタータは静かに元に戻してください。

リコイルスタータ



- (8) 始動したら回転の調子を見ながらチョークレバーを徐々に全開にしてください。



## 3、停止のしかた

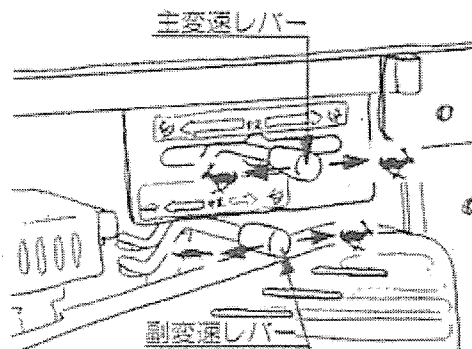
- (1) 主クラッチレバーを「切」にします。
- (2) アクセルレバーを「低速」にします。
- (3) エンジン停止スイッチを押してエンジンを停止します。
- (4) 燃料コックを「閉」にする。

### 重要

\*コックを開いたままで保管したり、車両で運搬するとエンジンの始動が困難となることがあります。

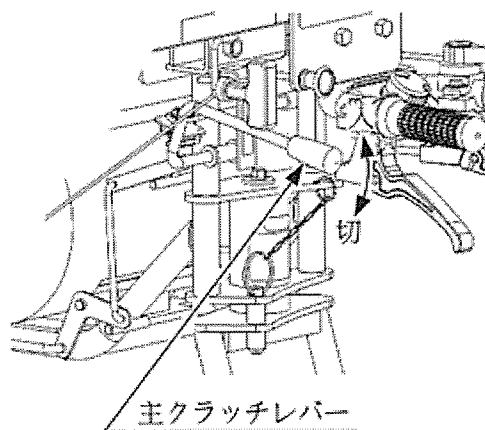
## 4、発進のしかた

- (1) 主変速レバーを希望の進行方向の位置にします。(前進 → 後進 ← )



- (2) 副変速レバーを低速 ← または高速 → の位置にします。

- (3) 主クラッチレバーを徐々に「入」の位置にすると発進します。



### 注意

運転する時は人を乗せたり、周囲に近付けないでください。特に子供には注意すること。

# こんな時どうする

## ⚠ 警告

1. 点検整備をするときは平坦な足元の良い場所で行ってください。
2. 夜間は適正な照明を用い安全に留意してください。

## 1、エンジンオイルの交換

### (1) 排油のしかた

エンジンが温かいうちに給油プラグを外しその後排油プラグを取外して排出してください。

### (2) 給油のしかた

給油プラグのオイルレベルゲージを使い上限まで入れてください。

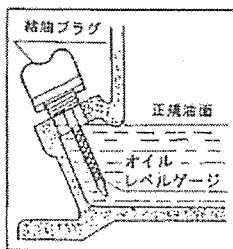
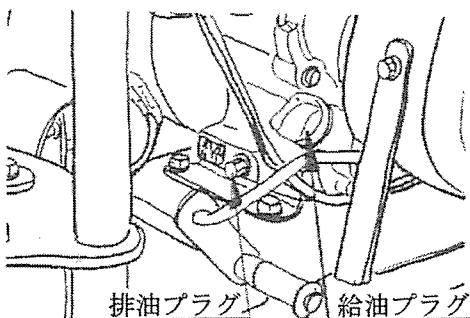
1 回目は20時間運転で、2回目以降は50時間運転毎に交換してください。

### エンジンオイル

春-秋 30# 又は 10W-30

冬- 20# 又は 10W-30

規定量 : KYU-S-3A(1200) ... 0.5 ℓ

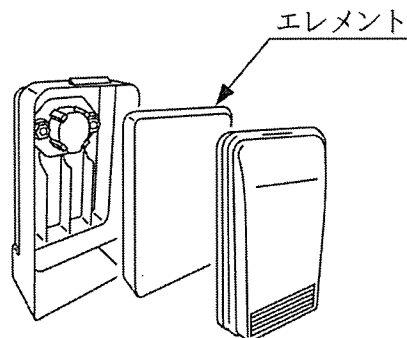


- ・ エンジンを水平にして正規油面まで補給。
- ・ 油量は給油プラグをねじ込まないでチェックする。

2、エアークリーナエレメントの清掃  
エレメントの汚れがひどいとき、およびオイル分がなく乾いているときは、白灯油で洗浄後エンジンオイルに浸し、片手で固く絞ってからエアクリーナーにセットしてください。

- 汚れたまま使用しますと、エンジンの出力低下や故障の原因になります。

## KYU-S-3A(1200)

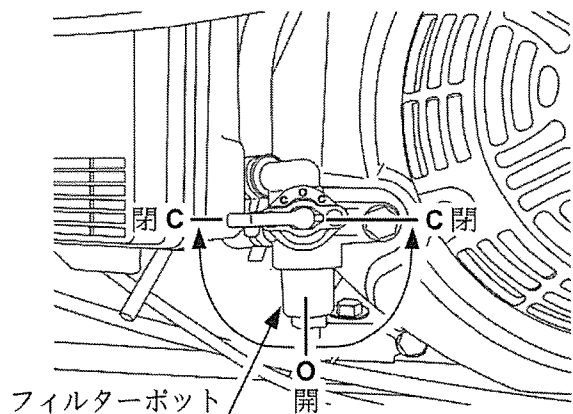


50時間使用毎	エアクリーナの点検
100時間使用毎	エアクリーナの清掃

# こんなときどうする

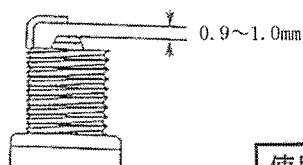
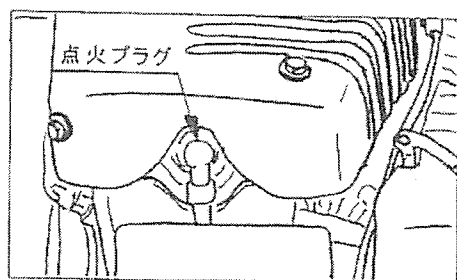
## 3、フィルターポットの清掃

ポット内に水やゴミがたまっているときは、燃料コックレバーを「C」(閉)にして、フィルターポットを取外し、ガソリンできれいに洗浄してください。



## 4、点火プラグの清掃・調節

- (1) プラグ用ボックススパナでプラグを取外して清掃します。
- (2) 電極のすきまが0.9~1.0になるように調節してください。
- (3) 点検調節は6ヶ月に1回行ってください。



使用点火プラグ  
NGK・BP4HS

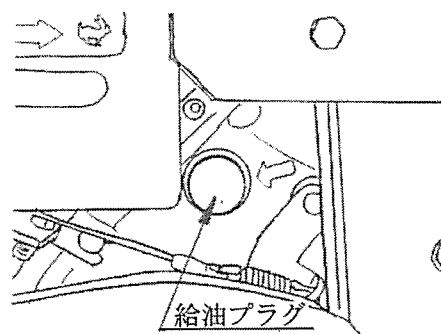
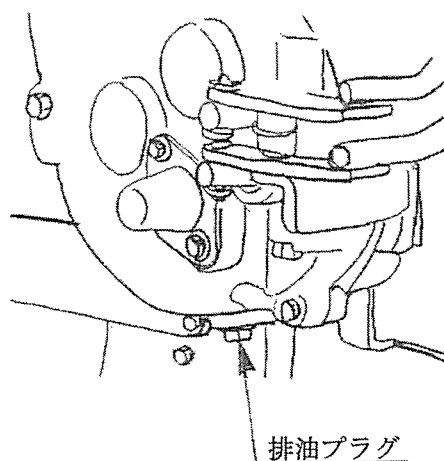
## 重要

締付け時はネジ山をつぶさないように、はじめ手で捻じ込んでからボックススパナで締付けてください。

## 5、ミッションオイルの交換

### (1) 排油のしかた

ミッションケースが温かい内にミッションケース下部の排油プラグを取外し排油してください。



## 重要

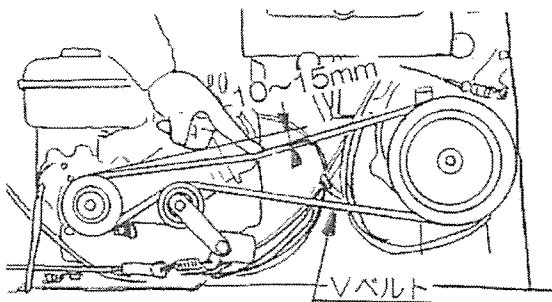
抜き取った廃油は、空地などに捨てないで専門の処理業者に委託するなど適正な処理をしてください

# こんな時どうする

## 6、Vベルトの張りの調節

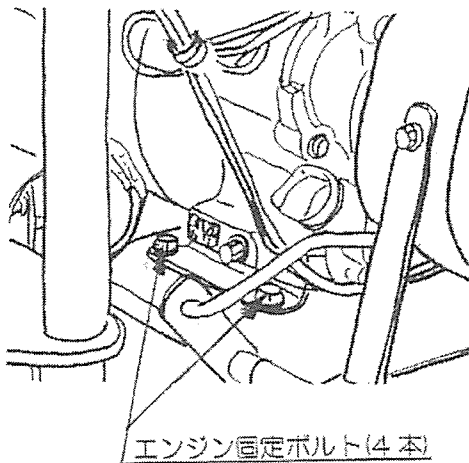
### (1) クラッチロッドによる調節

主クラッチレバーを「入」にした状態でベルトの中央部を指で押えて10~15mmたわむ程度にロッドの長さを調節してください。使い始めはVベルトが伸びやすいので10時間使用後に再調節してください。



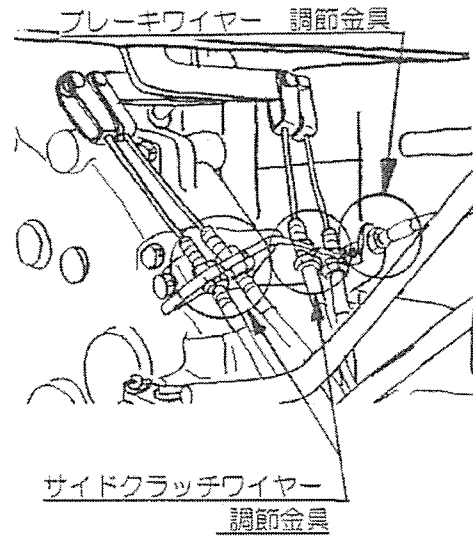
### (2) エンジン前後による調節

クラッチロッドの調節だけでは対応できない場合は、エンジン固定ボルト4本を緩め、エンジンを前後に移動させて調節してください。調節後はエンジン固定ボルトを確実に締付けてください。



## 7、サイドクラッチの調節

サイドクラッチレバーをいっぱい握ってもサイドクラッチが切れないときは、ワイヤーの調節金具を長く、又サイドクラッチが切れたままのときは短くしてください。



## 8、駐車ブレーキの調節

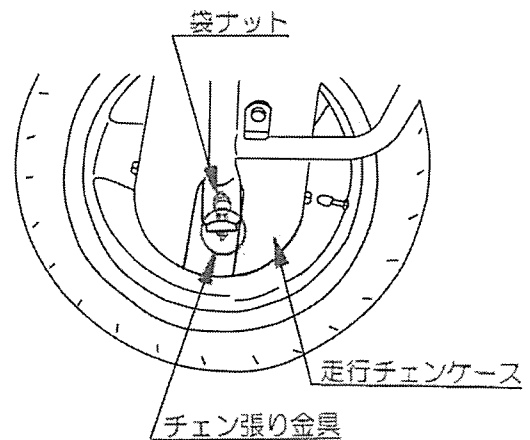
駐車ブレーキの利が悪いときはブレーキワイヤーの調節金具を長くしてください。

## 9、走行チェンの張りの調節

走行ケース内のチェンが伸びると、ケースの内部に接触したしチェン跳びが起こり機械の破損につながりますから、定期的に点検し調節してください。

### ●調節のしかた

車軸の袋ナットを緩めてからチェン張り金具の六角ナットを左右均等に締め込んで調節します。



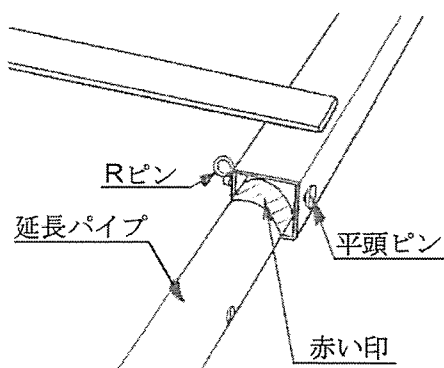
# こんな時どうする

## 10、車幅の調節

車幅を調節するときはフレーム前後のピンを抜いて左側のフレームを持ち上げるようにして押し引きして調節します。希望の幅になった所で延長パイプとフレームの穴を合せて平頭ピンを差込み Rピンで止めます。

### 注意

延長パイプの赤い印が出てきたらそれ以上に広く引き伸ばさないでください。



## 11、長期格納のしかた

- (1) 各部をきれいに清掃します。
- (2) ガソリンは全部抜き取っておきます。
- (3) 古いオイルは新しいオイルに交換しておきます。
- (4) 主クラッチレバーは「切」の位置にしておきます。
- (5) エアークリーナエレメントをきれいに清掃しておきます。
- (6) エンジンのシリンダー内に湿気が入って始動困難にならないようにリコイルスタータを引いて圧縮位置で止めておきます。
- (7) カバーを掛けて湿気やホコリのない所に保管します。カバーはエンジンが冷えていることを確認してから掛けてください。

# 仕様諸元

型 式		野菜運搬車 KYU-S-3A(1200)	
機 体 寸 法	全 長 mm	1540	
	全 幅 mm	1550/1650/1750/1850/1950/2050/2150/2250/2350	
	輪 距 mm	1200/1300/1400/1500/1600/1700/1800/1900/2000	
	全 高 mm	980(クリアランス900)	
	重 量 kg	162	
エ ン ジ ン	型 式	三菱GB131LN	
	連続定格出力 PS/rpm	3. 1/1800	
	最大出力 PS	4. 2	
	始 動 方 法	リコイルスタータ	
ミ ッ シ ョ ン	主 変 速	前進1段、後進1段	
	副 変 速	高速、低速2段	
速 度 km/h	前 進	低 速	1. 7
		高 速	3. 9
	後 進	低 速	1. 7
		高 速	3. 9
車 輪	キャスター	300-10(外径φ425mm、幅77mm)	
	駆 動 輪	400-12(外径φ544mm、幅114mm)	
駐 車 ブ レ ー キ		内部拡張式(ミッション内装型)	
主 ク ラ ッ チ		ベルトテンション方式	
最 大 積 載 量 kg		250	



## 補修用部品の供給年限について

---

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

## 純正部品を使いましょう

---

補修用部品は安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正アタッチメントを使いましょう

---

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業効率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

## 品番



# 関東農機株式会社

本社工場 本社営業所 〒323-0819 栃木県小山市横倉新田 493  
TEL 0285(27)3271(代) FAX 0285(27)4627

鏡石工場 福島営業所 〒969-0403 福島県岩瀬郡鏡石町久来石字大町 57  
TEL 0248(62)4131(代) FAX 0248(62)4133

盛岡工場 東北営業所 〒028-4132 岩手県盛岡市玉山区洪民字岩鼻 20-55  
TEL 019(683)1911(代) FAX 019(683)1119

九州営業所 〒866-0813 熊本県八代市上片町 1351  
TEL 0965(31)0730(代) FAX 0965(31)0760

・製品のご相談は下記の販売店へ